

第124期

事業報告書

平成18年4月1日から
平成19年3月31日まで



ISO9001 認証
JQA-1050



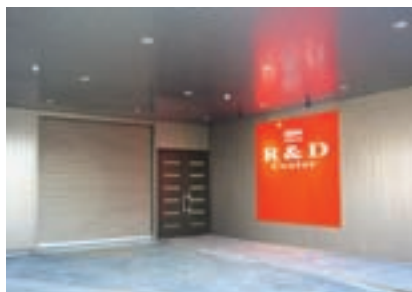
ISO14001 認証
JQA-EM0365

大阪府東大阪市四條町12番8号

株式会社 ロブテックス



R&D (Research and Development : 研究開発) センター開設



R&Dセンター 入口



展示室

昨年の2006年12月1日に創業以来の開発・生産の地である、ここ東大阪工場に「R&D (Research and Development : 研究開発) センター」がオープンしました。

「R&Dセンター」は過去、現在、未来へと続く「もの作り」の姿勢を公開するとともに、エビ印商品のメンテナンスを目的としたトレーニングセンターとしての役割も担っています。

そのための施設として、トレーニングルームを設置し、アフターサービス体制をバックアップします。また、展示室も設置されており、ここではロブテックスの歴史や商品の使い方なども体験していただけます。

新製品

超軽量 フレーム、シリンダーに
マグネシウム合金を使用することで
従来品より約15%以上軽量に



エアリベッター

**お手持ちのインパクトドライバーが
アツという間にフレアリングツールに !!**



アタッチメントフレア

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととおよろこび申し上げます。

さて、ここに第124期の事業報告書をお届けいたしますので、ご高覧たまわりますようお願い申し上げます。



当連結会計期間のわが国経済は原油をはじめとする素材価格の高止まり傾向は続いておりますものの、企業収益改善による設備投資の増加や個人消費の底堅さもあり、景気拡大基調で推移しました。当業界におきましては一部に回復の動きが見られますものの、企業間競争の激化は依然として継続し、厳しい経営環境下にありました。

このような情勢の中、当社グループは、創業120年にあたります2008年に『いい会社を目指して』を目標に、営業部門におきましては国内営業体制の見直しを実施すると共にファスナー分野を継続的に伸張させ、海外営業につきましても市場顧客別展開強化による売上拡大を目指す攻めの営業展開を図り、生産部門では鳥取ロブスターツール株式会社を「MADE IN JAPAN」として戦っていく工場とするための大幅な設備の拡充、技術開発部門では本社機能との一体化による効率化等による品質保証体制を中核としたコスト競争力・開発力の強化を図ってまいりました。また、経営戦略上の重要課題のひとつであります原材料の調達から商品のお客さまへのお届けまでの効率化を目指した物流改革をプロジェクトとして推し進めてまいりました。

その結果、当連結会計年度の連結売上高は61億6千7百万円（前年同期59億9千2百万円）と前年同期比2.9%の増加となりました。利益面では当社から鳥取

ロブスターツール株式会社への生産移管に伴い従来製造原価として処理していた当社開発関連費用を一般管理費に算入したことや財務体質の更なる健全化を図ることを目的にたな卸資産の評価を更に厳しくしたことによる費用増並びに将来の機動的かつ安定的な資金調達を目的とした長期コミットメントライン設定費用などの一過性費用の発生等により、連結営業利益は同32.9%減の3億2千6百万円（同4億8千6百万円）、連結経常利益は同47.1%減の2億3百万円（同3億8千4百万円）となりました。また、特別損失におきまして、前述の生産移管に伴う損失が発生いたしましたものの、生産拠点である鳥取ロブスターツール株式会社への設備投資とより一層の企業体質強化への活用を目的とした本社土地の一部売却における特別利益の発生があり、連結当期純利益で3億5千8百万円（同3億5千3百万円）と前年同期比1.5%の増加となりました。

事業別の概要は次のとおりです。

<金属製品事業>

国内売上におきましては公共投資の減少や価格競争の激化により切削工具では苦戦を強いられておりますが、モンキレンチをはじめとする作業工具が堅調に推移し、新製品投入によりファスニングツールが伸張いたしました結果、前年同期に比べ1.9%増加し、50億2千6百万円（前年同期49億3千2百万円）となりました。海外売上におきましては韓国向けには電設工具が不調でありましたが、作業工具が堅調に推移したことに加え、ファスニングツールがヨーロッパ向けに伸張し、9億6百万円（同8億5千万円）と前年同期に比べ6.6%増加しました。金属製品事業の合計売上高は前年同期比2.6%増の59億3千3百万円（同57億8千3百万円）となり、営業利益は前述のたな卸資

重点経営指標

産の評価を更に厳しくしたことによる費用増などにより、同45.2%減の2億3千3百万円（同4億2千5百万円）となりました。

<レジャー事業（ゴルフ練習場）>

売上高につきましては入場者数が増加し、前年同期比11.6%増の2億3千3百万円（前年同期2億9百万円）となりました。利益面では増収効果に販売費及び一般管理費の減少も加わり、営業利益は同53.0%増の9千3百万円（同6千万円）となりました。

今後の経済情勢は景気回復の持続が見込まれますものの、原油価格高騰などの景気減速要因に加え、企業間競争は更に激化し、経営環境は依然として厳しい状況が続くものと考えております。

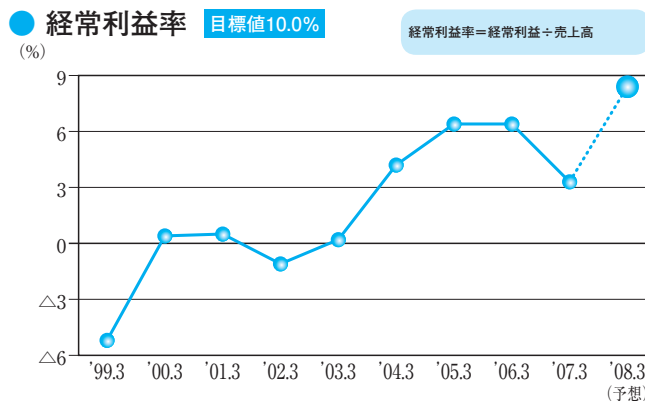
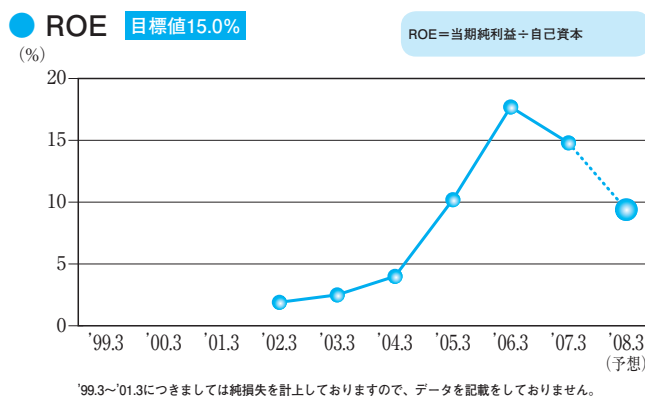
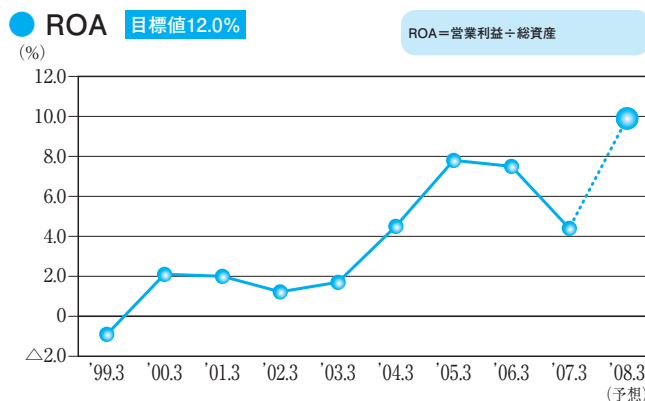
このような見通しの中、当社グループは創業120年にあたります2008年に『いい会社を目指して』を目標に、鳥取ロボスターツール株式会社への設備投資を拡充し、事業部制を機軸とした生産の効率化とコストダウンを図りますと共に、当社におきましては技術部門を統合したR&Dセンターを充実させ、有望商品開発のスピード化とお客様へのアフターサービスを強力に推し進めてまいります。

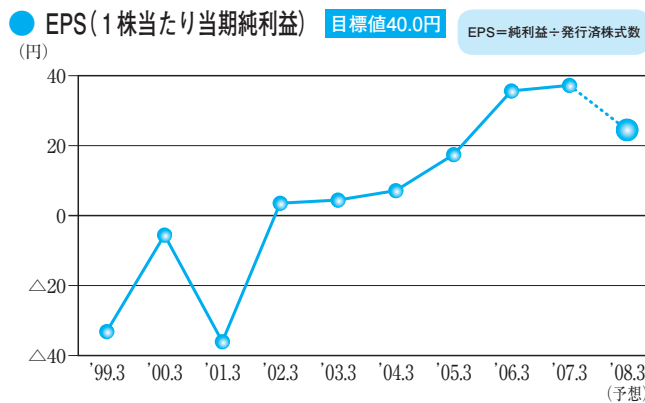
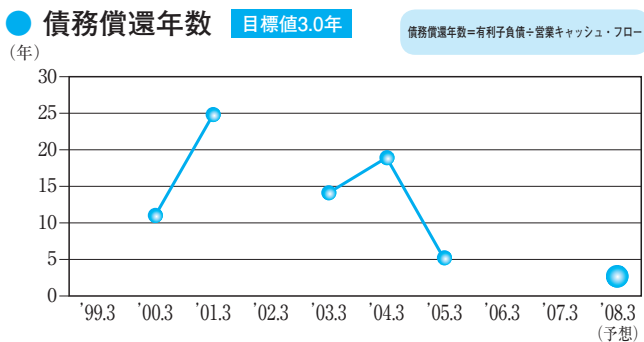
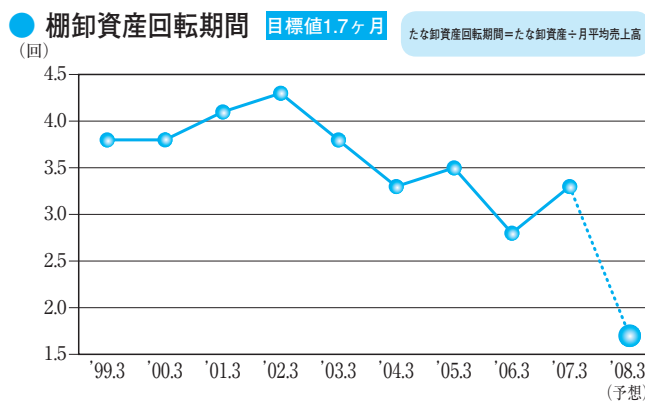
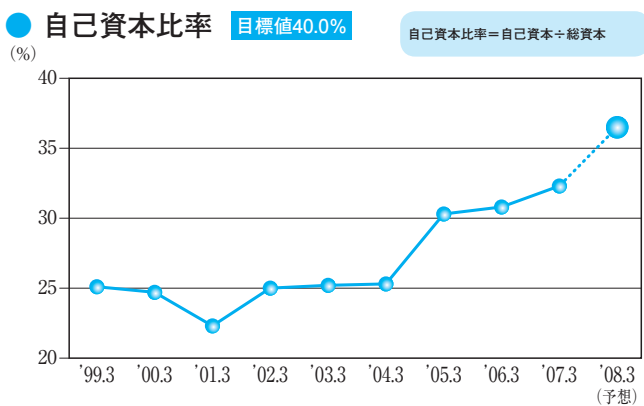
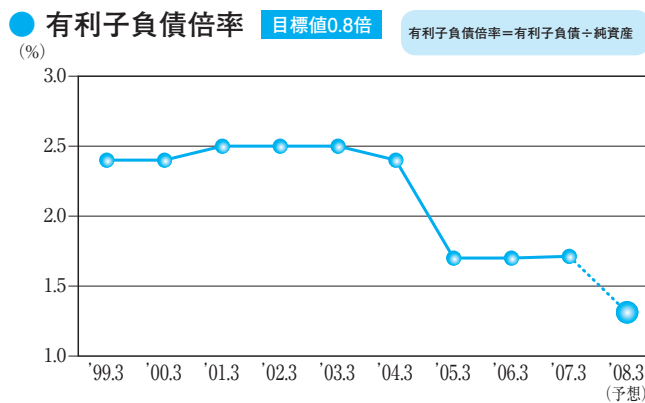
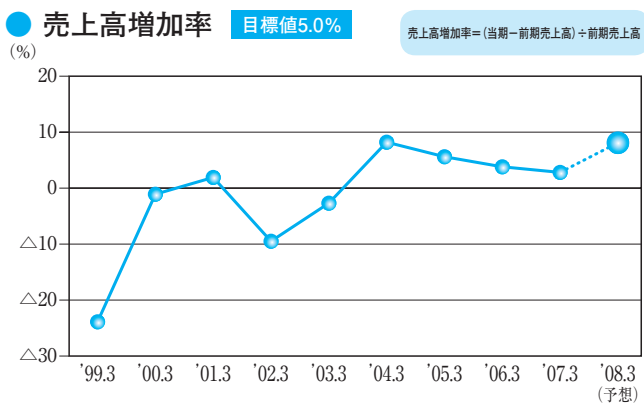
これらの諸施策により、適正利益を確保し、ROAをはじめとする経営指標を重視した経営を行い、業績の向上に取り組んでまいり所存であります。

株主のみなさまには、変わらぬご支援、ご指導をたまわりますようお願い申し上げます。

平成19年6月

取締役社長 **木村士郎**





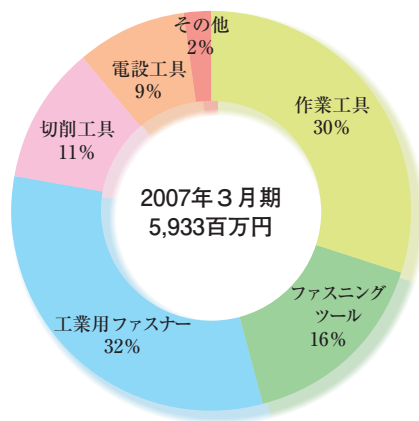
第119期につきましては、金融機関の休日による手形決済日ズレ等の影響により、異常値となっているため、指数を除外しております。
 第123期は資金の流れの効率化と手形取引に伴う非効率な業務の排除を目的とした支払の現金化実施による仕入債務の減少等により、一時的に営業キャッシュ・フローが悪化し、マイナス値となっているため、表示しておりません。
 第124期は支払の現金化実施による仕入債務減少や棚卸資産の増加等により、営業キャッシュ・フローがマイナス値となっているため、表示しておりません。

連結業績の推移

● 営業成績

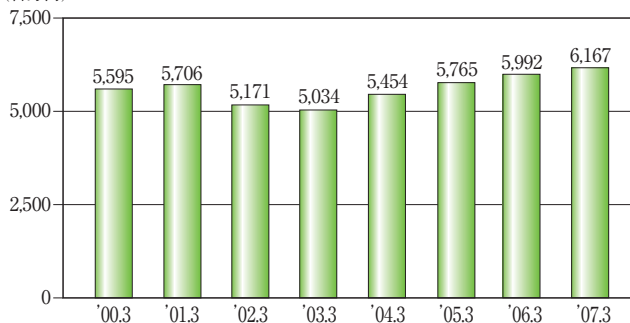
区分	第117期 (2000年 3月期)	第118期 (2001年 3月期)	第119期 (2002年 3月期)	第120期 (2003年 3月期)	第121期 (2004年 3月期)	第122期 (2005年 3月期)	第123期 (2006年 3月期)	第124期 (2007年 3月期)
売上高 (百万円)	5,595	5,706	5,171	5,034	5,454	5,765	5,992	6,167
経常損益 (百万円)	24	30	△ 54	10	228	366	384	203
当期純損益 (百万円)	△ 67	△ 420	38	47	73	192	353	358
1株当たり 当期純損益 (円)	△ 5.85	△ 36.35	3.31	4.23	6.90	17.26	35.47	37.24

● 金属製品事業における品種別の売上高構成比



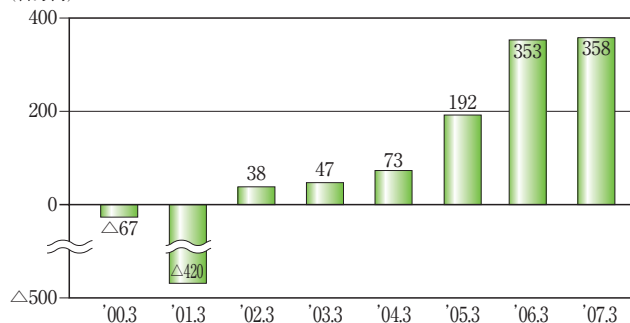
● 売上高

(百万円)



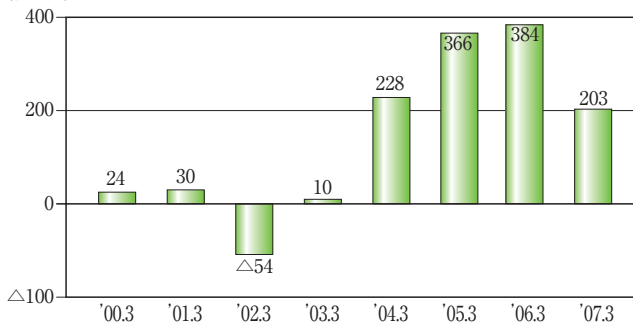
● 当期純損益

(百万円)



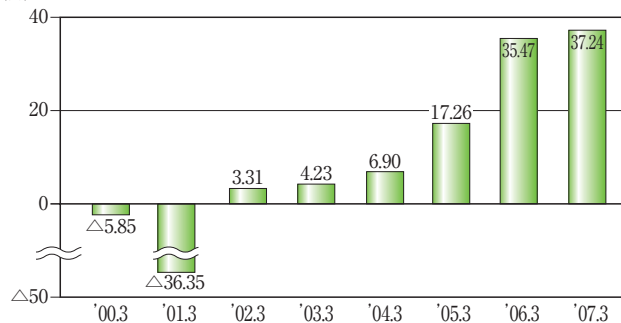
● 経常損益

(百万円)



● 1株当たり当期純損益

(円)

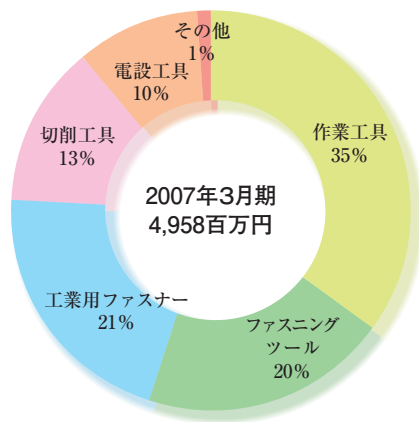


単独業績の推移

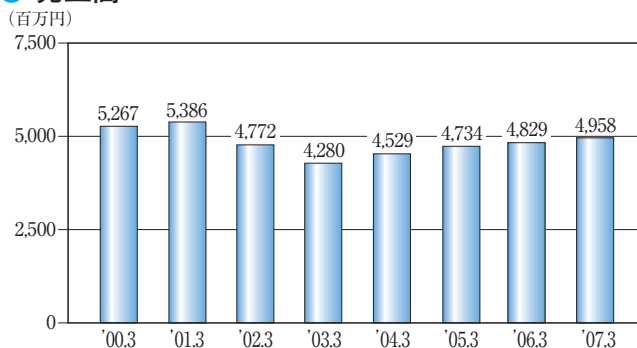
● 営業成績

区分	第117期 (2000年 3月期)	第118期 (2001年 3月期)	第119期 (2002年 3月期)	第120期 (2003年 3月期)	第121期 (2004年 3月期)	第122期 (2005年 3月期)	第123期 (2006年 3月期)	第124期 (2007年 3月期)
売上高 (百万円)	5,267	5,386	4,772	4,280	4,529	4,734	4,829	4,958
経常利益 (百万円)	83	103	76	118	240	274	315	127
当期純損益 (百万円)	7	△ 945	129	114	87	134	145	212
1株当たり 当期純損益 (円)	0.62	△82.25	11.29	10.17	8.18	11.50	13.34	22.11

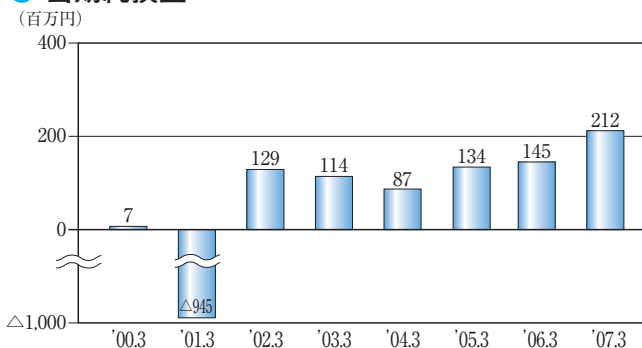
● 品種別の売上高構成比



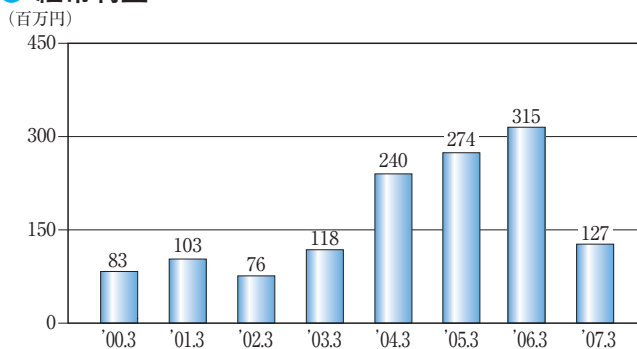
● 売上高



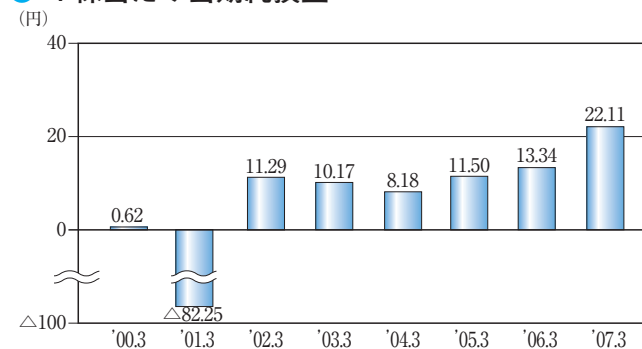
● 当期純損益



● 経常利益



● 1株当たり当期純損益



連結財務諸表

● 連結貸借対照表

平成19年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	4,393,872	流動負債	4,220,760
現金及び預金	1,074,113	買掛金	258,240
受取手形及び売掛金	1,064,749	短期借入金	3,072,414
たな卸資産	1,696,639	一年内償還社債	300,000
前払費用	340,653	未払法人税等	170,139
繰延税金資産	158,517	その他	419,966
その他	59,269	固定負債	840,576
貸倒引当金	△ 70	社債	500,000
固定資産	3,093,913	長期借入金	298,901
有形固定資産	2,759,188	繰延税金負債	26,688
建物及び構築物	1,678,585	退職給付引当金	13,964
機械装置及び運搬具	99,025	その他	1,022
工具器具及び備品	84,635	負債の部合計	5,061,337
土地	862,655	(純資産の部)	
建設仮勘定	34,286	株主資本	2,370,190
無形固定資産	9,797	資本金	960,000
投資その他の資産	324,927	資本剰余金	541,520
投資有価証券	143,827	利益剰余金	1,051,198
その他	196,182	自己株式	△182,528
貸倒引当金	△ 15,081	評価・換算差額等	48,111
繰延資産	9,531	その他有価証券評価差額金	48,111
社債発行費	9,531	少数株主持分	17,676
資産の部合計	7,497,317	純資産の部合計	2,435,979
		負債及び純資産の部合計	7,497,317

(注) 記載金額は千円未満を切捨てて表示しています。

● 連結損益計算書

平成18年4月1日から
平成19年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	金 額	
売上高		6,167,230
売上原価		4,037,665
売上総利益		2,129,564
販売費及び一般管理費		1,802,927
営業利益		326,637
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,543	
仕入割引	14,105	
その他	24,665	41,314
営業外費用		
支払利息	53,846	
売上割引	58,786	
支払手数料	36,000	
その他	15,731	164,364
経常利益		203,586
特別利益		
固定資産売却益	489,696	489,696
特別損失		
固定資産除却損	44,361	
役員退職慰労金	585	
生産移管に伴う関連資産損失	51,482	96,429
税金等調整前当期純利益		596,854
法人税、住民税及び事業税	252,702	
法人税等調整額	△16,699	236,003
少数株主利益		2,270
当期純利益		358,579

(注) 記載金額は千円未満を切捨てて表示しています。

● 連結キャッシュ・フロー計算書 平成18年4月1日から平成19年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 380,481
投資活動によるキャッシュ・フロー	89,751
財務活動によるキャッシュ・フロー	758,234
現金及び現金同等物の増加額	467,504
現金及び現金同等物の期首残高	606,609
現金及び現金同等物の期末残高	1,074,113

(注) 記載金額は千円未満を切捨てて表示しています。

● 連結株主資本等変動計算書

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで

(単位：千円)

	株 主 資 本					評価・換算差額等		少数株主持分	純資産合計
	資 本 金	資本剰余金	利益剰余金	自 己 株 式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
平成18年3月31日残高	960,000	491,045	806,013	△317,513	1,939,545	59,121	59,121	15,383	2,014,051
連結会計年度中の変動額									
剰余金の配当(注)2.			△ 93,394		△ 93,394				△ 93,394
役員賞与(注)2.			△ 20,000		△ 20,000				△ 20,000
当期純利益			358,579		358,579				358,579
自己株式の取得				△ 2,039	△ 2,039				△ 2,039
自己株式の処分		50,475		137,025	187,500				187,500
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の 変動額(純額)						△ 11,009	△ 11,009	2,293	△ 8,716
連結会計年度中の変動額合計	—	50,475	245,184	134,985	430,645	△ 11,009	△ 11,009	2,293	421,928
平成19年3月31日残高	960,000	541,520	1,051,198	△182,528	2,370,190	48,111	48,111	17,676	2,435,979

(注) 1. 記載金額は千円未満を切捨てて表示しています。

2. 平成18年6月の定時株主総会における利益処分項目であります。

● 子会社

会 社 名	株式会社ロブテックスファスニングシステム	鳥取ロブスターツール株式会社	株式会社ロブエース
設 立	昭和63年7月2日	平成2年12月6日	平成3年8月8日
資 本 金	1,000万円	5,000万円	5,000万円
住 所	東京都中央区日本橋堀留町1-5-11 堀留Dビル7階	鳥取県西伯郡大山町高田1213番地1	大阪府八尾市上尾町6丁目1番地
事 業 内 容	ファスニングツール 工業用ファスナー卸売業	金属製品製造業	ゴルフ練習場
代 表 者	代表取締役社長 木村士郎	代表取締役社長 木村士郎	代表取締役社長 平田正紘

単独財務諸表

● 単独貸借対照表

平成19年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	3,730,555	流動負債	3,992,390
現金及び預金	991,587	買掛金	188,108
受取手形	25,038	短期借入金	3,072,414
売掛金	808,491	一年内償還社債	300,000
たな卸資産	1,010,879	その他	431,867
繰延税金資産	170,617	固定負債	825,961
その他	724,002	社債	500,000
貸倒引当金	△ 60	長期借入金	298,901
		その他	27,060
固定資産	3,444,815	負債の部合計	4,818,352
有形固定資産	2,660,321	(純資産の部)	
建物	1,244,057	株主資本	2,318,404
構築物	400,028	資本金	960,000
機械装置	94,643	資本剰余金	541,520
土地	859,775	資本準備金	491,045
その他	61,815	その他資本剰余金	50,475
無形固定資産	6,375	利益剰余金	999,411
投資その他の資産	778,119	利益準備金	176,019
長期貸付金	879,671	その他利益剰余金	823,392
その他	387,781	別途積立金	475,000
貸倒引当金	△ 489,333	繰越利益剰余金	348,392
繰延資産	9,531	自己株式	△ 182,528
社債発行費	9,531	評価・換算差額等	48,146
		その他有価証券評価差額金	48,146
資産の部合計	7,184,903	純資産の部合計	2,366,550
		負債及び純資産の部合計	7,184,903

(注) 記載金額は千円未満を切捨てて表示しています。

● 単独損益計算書

平成18年4月1日から
平成19年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
売上	4,958,152	高価	3,284,375
売上原価	1,673,777	総利益	1,446,702
売上総利益	227,074	営業利益	227,074
販売費及び一般管理費		営業外収益	
営業利益		受取利息及び配当金	16,742
		受取の家賃	26,686
		その他の費用	18,191
		営業外費用	
		支払利息	53,846
		売上割引	59,387
		支払手数料	36,000
		その他	12,181
		経常利益	127,279
		特別利益	
		固定資産売却益	489,696
		貸倒引当金戻入益	12,653
		特別損失	
		固定資産除却損	42,434
		役員退職慰労金	585
		貸倒引当金繰入額	99,178
		生産移管に伴う関連資産譲渡損	76,457
		税引前当期純利益	410,973
		法人税、住民税及び事業税	225,600
		法人税等調整額	△ 27,485
		当期純利益	212,859

(注) 記載金額は千円未満を切捨てて表示しています。

● 単独株主資本等変動計算書

平成18年4月1日から
平成19年3月31日まで

(単位：千円)

	株 主 資 本					評価・換算差額等		純資産合計
	資 本 金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
平成18年3月31日残高	960,000	491,045	899,946	△ 317,513	2,033,479	58,920	58,920	2,092,399
事業年度中の変動額								
剰余金の配当(注)2.			△ 93,394		△ 93,394			△ 93,394
役員賞与(注)2.			△ 20,000		△ 20,000			△ 20,000
当期純利益			212,859		212,859			212,859
自己株式の取得				△ 2,039	△ 2,039			△ 2,039
自己株式の処分		50,475		137,025	187,500			187,500
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)						△ 10,774	△ 10,774	△ 10,774
事業年度中の変動額合計	—	50,475	99,464	134,985	284,925	△ 10,774	△ 10,774	274,150
平成19年3月31日残高	960,000	541,520	999,411	△ 182,528	2,318,404	48,146	48,146	2,366,550

(注) 1. 記載金額は千円未満を切捨てて表示しています。

2. 平成18年6月の定時株主総会における利益処分項目であります。

会社の概要

平成19年3月31日現在

設立 大正12年8月12日
資本金 960,000,000円
発行済株式総数 10,500,000株
本店所在地 東大阪市四条町12番8号
従業員数 103名
製造販売品目 作業工具
ファスニングツール
電設工具
切削工具
工業用ファスナー

事業所

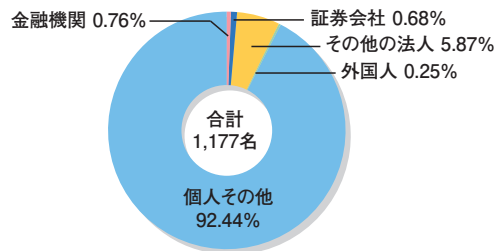
本社／東大阪市四条町12番8号（〒579-8053）
☎072-980-1110(代)
大阪営業所／東大阪市四条町12番8号（〒579-8053）
☎072-980-1111(代)
東京営業所／東京都板橋区高島平2丁目6番4号（〒175-0082）
☎03-3550-3671(代)
名古屋営業所／名古屋市中区八竜町1丁目40番地（〒462-0805）
☎052-915-0431(代)
福岡営業所／福岡市博多区山王1丁目7番9号（〒812-0015）
☎092-431-0395(代)
物流センター／東大阪市四条町7番9号（〒579-8053）
☎072-981-3664(代)

営業事務所

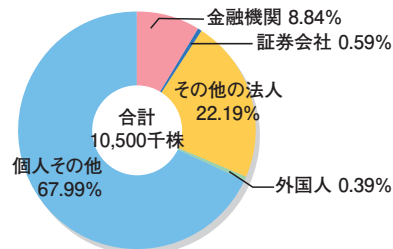
札幌事務所／仙台事務所／盛岡事務所／伊勢崎事務所
横浜事務所／金沢事務所／高松事務所／広島事務所

株式の状況

発行可能株式総数 45,000千株
発行済株式総数 10,500千株
株主総数 1,177名
所有者別



所有数別



役員 (平成19年6月21日現在)

取締役社長 (代表取締役)	木村 士郎
取締役	米川 修平
取締役	木村 誠治
取締役	林 邦男
取締役	行 俊直彦
監査役(常勤)	田中 喜彦
監査役	稲垣 貞男
監査役	大森 利治



株 主 メ モ

事業年度
定時株主総会
基準日

4月1日から翌年3月31日まで
毎年6月に開催いたします。
定時株主総会の議決権 3月31日
期 末 配 当 3月31日
中 間 配 当 9月30日
※その他必要がある場合は、あらかじめ公告する一定の日

公 告 方 法

電子公告により行います。
<http://www.lobtex.co.jp/lobtex/ir/>
ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
なお、当社の貸借対照表ならびに損益計算書は、EDINET（証券取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム）にて開示しております。

株主名簿管理人

大阪市中央区北浜二丁目4番6号

同事務取扱場所

株式会社だいこう証券ビジネス
株式会社だいこう証券ビジネス 本社証券代行部
〒541-8583 大阪市中央区北浜二丁目4番6号
電話 フリーコール 0120-255-100

同 取 次 所

株式会社だいこう証券ビジネス全国各支社